

若年期認知症に関する要望書

2010年12月24日

公益社団法人 認知症の人と家族の会

2010年12月24日

厚生労働大臣 細川 律夫 様

公益社団法人認知症の人と家族の会
代表理事 高見 国生

「若年期認知症に関する要望書」

公益社団法人認知症の人と家族の会では2001年に「若年期認知症に関する要望書」を厚生労働大臣に提出しました。また、2007年には広島において若年期認知症サミットを開催し、アピールを公表して、この病気が本人のみならず、家庭生活にも重大な困難をもたらすことを訴えてきました。

2008年7月に貴省は「認知症の医療と生活の質を高める緊急プロジェクト報告」を公表し、その中に「若年性認知症対策」を盛り込まれ、今後の方向を示されました。また、今年9月17日にはおよそ2年ぶりにその内容のフォローアップと検証を行うための会合が再開されたと聞き、具体的な対策が示されるものと、期待しています。

また、若年期認知症の人が本人どうしの交流会において「私たちの思いを聞いてください」というアピールを公表しています（後記：本人の思い参照）。

私どもの若年期認知症に関する願いをお汲み取りいただき、多くの課題に対する対策の一層の充実につながるよう以下のことを要望します。

1、早期に薬の開発・認可を進めること

- ・認知症を治す薬・進行を抑制する薬が早期に開発されるようにして下さい。
- ・現在、開発されている薬を早期に認可し、医療保険で利用できるようにして下さい。

2、就労の継続を支援すること

- ・認知症になっても本人が希望すれば働き続けられるように、企業が認知症に対する理解を深め、支援者を置くなどの環境を整えるための補助金を支給して下さい。
- ・医療専門職が、認知症の人の能力に応じた仕事内容や支援を助言するための報酬を医療保険にもうけて下さい。
- ・退職を余儀なくされる場合は、今後の生活設計や必要な手続きを相談できるワンストップ窓口をもうけて下さい。

3、経済的支援を充実すること

- ・若年期認知症を障害年金の支給対象に明示して下さい。
- ・生計を維持している人が認知症になった家庭の、子どもの就学を保障する奨学金制度をもうけて下さい。
- ・若年期認知症を高度障害と認め、生命保険の支給や住宅ローンの残額を免除できるようにして下さい。
- ・身体障害者であれば利用できる税制優遇や公共交通機関の料金割引などを、若年期認知症でも利用できるようにして下さい。

4、若年期認知症の人が利用しやすい介護保険サービスにすること

- ・介護保険サービス利用者が、事業所等で作業に従事した場合には作業報酬を支払うことを認め、認知症の人の仕事づくりに取り組む事業所の普及をはかって下さい。
- ・介護保険サービスを利用しても、障害者自立支援法サービスの就労支援や作業所、移送サービスの利用を制限しないようにしてください。
- ・若年期認知症のサービスを、地域密着の枠を超えて、広域で利用できるようにして下さい。
- ・若年期認知症に適切なケアが提供されるようケアマネジャーや介護スタッフの研修を進めて下さい。

5、早期に発見し、早期から適切な支援をすること

- ・定期健診に認知症早期発見の仕組みを取り入れ、早期診断ができるように医師の研修を進めて下さい。
- ・医療専門職が、認知症の人や家族の相談に応じ、適切な窓口につなぐ初期の支援を行うための報酬を医療保険にもうけて下さい。

6、若年期認知症「本人のつどい」を広げるために支援をすること

- ・認知症の人同士が励ましあい支えあう「本人のつどい」を全国に広げるための補助金を支給するなど、積極的な支援をして下さい。

7、若年期認知症に関する広報啓発をすすめること

- ・若年期認知症に関する理解の普及、早期発見の重要性、雇用継続や就労の支援、障害者サービスの活用等、発症後の支援と相談窓口の周知など国民に広く広報啓発をして下さい。

参考資料：

以下は 2010 年 5 月と 10 月に実施された本人同士の交流会「本人ネットワーク支援事業・全国本人交流会」に参加した“認知症の本人”が作成したアピールをまとめたものです。

本人の思い「本人交流会参加者のアピール」

国に対して

- ・ 進行を遅らせる薬を早く！早く！
飲めるようにしてください！
 - ・ 根本治療薬を 1 分 1 秒でも早く開発、認可してほしい
- #### まわりの人にわかってほしいこと
- ・ 認知症であっても、やれることが いっぱいあります
みんなの役に立ちたい
 - ・ 「今のままのあなたでいいよ」といってくれる人とかかわっていきたい
 - ・ 普通につきあってほしい
 - ・ 本人や家族の心を大切にしてほしい
- でも...できないことは助けてほしい
やさしく 見守ってほしい

仲間に伝えたいこと

- ・ せっかくの自分の「いのち」は、自分の思いを大切に！
- ・ 命ある限り、楽しみながら、精一杯生きていこうよ

家族にわかってほしいこと

- ・ 僕の思いをわかってほしい
- ・ やさしい思いで見守ってほしい
- ・ 二人三脚で、ずっと最後まで一緒に歩んでいきたい
- ・ 認知症を公表すれば、本人が楽になる
楽になると 進行もゆっくりになる